

科目名	プロ養成講座	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	園田 翔太郎
学科・コース	ウエディング科・ホテル科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分	後期 曜日・時間 水曜日 1時限目
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
・学校生活の全てに関わること(授業・学校行事・スケジュール・現場実習・就職活動など)の軸となる授業を実施し、学校生活を円滑にすることができる ・業界講話など多くの現場のプロに触れながら、業界に対しての知識を増やし、現場に必要とされる人間力を養う							
【到達目標】							
①現場実習・就職活動の準備をすることができる ②それぞれの価値観に触れることで、価値観に対して柔軟になることができる ③卒業後のなりたい自分のビジョンを明確にすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 シラバス・学年暦・手帳 その他は講師が用意				【授業外における学習】 事前準備をしっかりとしておくこと			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 9/30	【到達目標】 後期スケジュール / 目標設定 ・後期のスケジュールについて確認・理解することができる ・前期の振り返りをふまえ、後期の目標を明確にすることができる ・就職活動状況についての確認ができる 【確認小テスト】 2点			9 12/2	【到達目標】 業界研究 ・業界研究を通じて、ブライダル業界についての知識を増やすことができる ・就職活動に繋げることができる 【確認小テスト】 3点		
2 10/7	【到達目標】 業界研究 ・業界研究を通じて、ブライダル業界についての知識を増やすことができる ・就職活動に繋げることができる 【確認小テスト】 3点			10 12/9	【到達目標】 社会人基礎力③ ・社会に出て大人になったときに必要な一般常識・知識を身につける ・社会での関わり方について理解することができる 【確認小テスト】 3点		
3 10/14	【到達目標】 業界研究 ・業界研究を通じて、ブライダル業界についての知識を増やすことができる ・就職活動に繋げることができる 【確認小テスト】 3点			11 12/16	【到達目標】 社会人基礎力④ ・社会に出て大人になったときに必要な一般常識・知識を身につける ・社会での関わり方について理解することができる 【確認小テスト】 3点		
4 10/21	【到達目標】 社会人基礎力① ・社会に出て大人になったときに必要な一般常識・知識を身につける ・社会での関わり方について理解することができる 【確認小テスト】 3点			12 1/20	【到達目標】 3期実習後教育 ・3期現場実習について振り返りをし、次に活かすものを発見することができる ・卒業後に繋がる振り返りができる 【確認小テスト】 3点		
5 10/28	【到達目標】 社会人基礎力② ・社会に出て大人になったときに必要な一般常識・知識を身につける ・社会での関わり方について理解することができる 【確認小テスト】 3点			13 1/27	【到達目標】 社会人基礎力⑤ ・社会に出て大人になったときに必要な一般常識・知識を身につける ・社会での関わり方について理解することができる 【確認小テスト】 3点		
6 11/11	【到達目標】 業界研究 ・業界研究を通じて、ブライダル業界についての知識を増やすことができる ・就職活動に繋げることができる 【確認小テスト】 3点			14 2/3	【到達目標】 2年間の振り返り ・2年間の学校生活の振り返りを行い、社会に出る準備をする ・定期試験に向けて、確認することができる 【確認小テスト】 2点		
7 11/18	【到達目標】 卒業生講話① ・先輩から現場に入ってから経験、卒業後の生き方を聞き、自己の卒業後のイメージができる 【確認小テスト】 3点			15 2/10	【到達目標】 定期試験 ・後期について、目標に対して振り返り ・社会人基礎力について 【定期試験】 60点		
8 11/25	【到達目標】 卒業生講話② ・先輩から現場に入ってから経験、卒業後の生き方を聞き、自己の卒業後のイメージができる 【確認小テスト】 3点						
【特記事項】				【評価について】 毎回の小テスト40点、および定期試験60点満点の合計100点満点の得点力に応じて評価する			

科目名	コミュニケーションランゲージ	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	松浦 美紀子
学科・コース	ホテル科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分	後期 曜日・時間 水曜日 2時限目
<p>【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>ホテルにて外国人を相手に接客をする際に英語でスムーズにコミュニケーションがとれるようホテル英会話を学ぶ。英会話の能力を高めるため学んだ内容を繰り返し演習する。自分なりの表現でコミュニケーションが取れるという自信をつける。英語で基本の接客が出来るだけでなく、おもてなしの英語は何かを理解しおもてなしの接客が出来るようになる</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ホテルにおける外国人のお客様の接客をフロントスタッフ、ドアマン、ハウスキーパーなどの分野においても出来る。様々な場面やトラブル等応用的な場面にも対応できる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ホテル英会話Ⅰ－基礎編 講師準備のプリント				授業終了後に接客ノートの作成			
回	授業概要			回	授業概要		
1 9/30	<p>【到達目標】</p> <p>オリエンテーション-後期の授業で習得する内容の確認。目標とそこに到達するまでに自身で行う具体的な目標の作成をする</p> <p>【確認小テスト】 2点</p>			9 12/2	<p>【到達目標】</p> <p>苦情処理に必要な英語表現を学び、使うことが出来る-騒音、部屋の設備、レストランでの苦情等</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
2 10/7	<p>【到達目標】</p> <p>応用ホテル英会話①部屋の予約の際の様々なリクエストや質問に対応できる</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			10 12/9	<p>【到達目標】</p> <p>緊急事態に必要な英語表現を学ぶ-家事や地震、急病の際の対応</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
3 10/14	<p>【到達目標】</p> <p>応用ホテル英会話②チェックインの際の様々な状況に対応できる(お部屋の変更、宿泊数の変更、突然のご宿泊等)</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			11 12/16	<p>【到達目標】</p> <p>日本の有名な観光地について英語で説明できる</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
4 10/21	<p>【到達目標】</p> <p>応用ホテル英会話③様々なホテルサービスの対応が出来る-お客様の手紙や郵便物を送る手配、メッセージのお預かり、貴重品ボックスの対応など</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			12 1/20	<p>【到達目標】</p> <p>日本の歴史を英語で説明できる</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
5 10/28	<p>【到達目標】</p> <p>応用ホテル英会話④ホテル内のショップにおける接客が出来る-商品の説明、サイズや色のご案内、レジ対応等</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			13 1/27	<p>【到達目標】</p> <p>外資系ホテルで働く際の英会話-同僚や上司が外国人の場合に必要なコミュニケーションを取ることが出来る</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
6 11/11	<p>【到達目標】</p> <p>応用ホテル英会話⑤チェックアウトの際の様々な対応が出来る-様々な支払方法への対応、請求書に間違いがあった際の対応等</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			14 2/3	<p>【到達目標】</p> <p>ホテル英会話の総復習-どのような分野でもスムーズな接客が出来る</p> <p>【確認小テスト】 2点</p>		
7 11/18	<p>【到達目標】</p> <p>応用ホテル英会話⑥電話のオペレーター業務が出来る-外部からの電話の取次ぎ、ウエイクアップコール、館内呼び出し等</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			15 2/10	<p>【到達目標】</p> <p>ホテルにおける一連の基本の接客を英語で行うことが出来る 筆記試験と実技試験を行い評価する</p> <p>【定期試験】 60点</p>		
8 11/25	<p>【到達目標】</p> <p>応用ホテル英会話⑦レストラン業務が出来る-ビュッフェ形式の説明、和食レストランのメニューの説明等</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>						
【特記事項】				【評価について】			
				<p>※筆記試験 30点 ※実技試験 ・技術-文法力、語彙力 ・所作-態度、笑顔 ・コミュニケーション力の3つの項目を30点満点で評価する</p>			

科目名	プロデュース実践	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	園田 翔太郎
学科・コース	ウエディング科・ホテル科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60時間 (4単位)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 3・4限目
<p>【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>・ブライダル・ホテル業界全般で「期待を超える」企画・提案・実行力を磨くために、いろいろな経験や様々な出逢いを通して、学生自身の考え方や行動の引き出しを増やす授業を行う。 ・実際にイベント等を企画・実行・振り返りをし、自身の強みや弱みを理解し、次に繋げて成長していく。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①いろいろな経験や様々な出逢いを通じて、自身の考え方の引き出しを増やすことができる ②実際にイベント等を企画・実行していくことによって、計画・実行・振り返りをし、自身の強み・弱みを理解することができる ③実行力と主体性の大事さを理解し、就職後も求められる人材となる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師が用意				前回授業の内容を理解したうえで、授業に望むこと			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 9/30	<p>【到達目標】 後期授業について ・前期の振り返り、後期の授業スケジュールについて理解できる ・ブライダルBOOK製作について、イメージすることができる</p> <p>【確認小テスト】 2点</p>			9 12/2	<p>【到達目標】 BOOK製作④ ・チームで協力し、作業に取り組むことができる ・計画に沿って、実行力を高めることができる</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
2 10/7	<p>【到達目標】 ハロウィンイベント分 振替 (プロ実) 3限目・4限目 授業なし</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			10 12/9	<p>【到達目標】 BOOK製作⑤ ・チームで協力し、作業に取り組むことができる ・計画に沿って、実行力を高めることができる</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
3 10/14	<p>【到達目標】 ハロウィンイベントに向けた準備/BOOK製作① ・チームで協力し、作業に取り組むことができる ・具体的な構想・イメージを明確にすることができる ・完成に向けたスケジュールを組むことができる</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			11 12/16	<p>【到達目標】 BOOK製作⑥ ・チームで協力し、作業に取り組むことができる ・計画に沿って、実行力を高めることができる</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
4 10/21	<p>【到達目標】 ハロウィンイベントに向けた準備/BOOK製作② ・チームで協力し、作業に取り組むことができる ・計画に沿って、実行力を高めることができる</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			12 1/20	<p>【到達目標】 ハロウィンイベント分 振替 (プロ実) 3限目・4限目 授業なし</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
5 10/28	<p>【到達目標】 ハロウィンイベントに向けた準備/BOOK製作③ ・チームで協力し、作業に取り組むことができる ・計画に沿って、実行力を高めることができる</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			13 1/27	<p>【到達目標】 ハロウィンイベント分 振替 (プロ実) 3限目・4限目 授業なし</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
6 11/11	<p>【到達目標】 ハロウィンイベント分 振替 (プロ実) 3限目・4限目 授業なし</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			14 2/3 (2/6)	<p>【到達目標】 時間割変更【2/3 3限・4限 プロ実 → 2/6 1年生模擬挙式参加】 1年生模擬挙式参加 ・先輩達の模擬挙式に参加・体験を通して感性を磨く ・視野を広げて、良い点など先輩達に伝えてあげることができる</p> <p>【確認小テスト】 2点</p>		
7 11/18	<p>【到達目標】 キャンパスウエディングに向けた準備 ・それぞれの役割を理解し、最終的な確認をすることができる ・チームで協力しひとつの結婚式をつくりあげる準備ができる</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			15 2/10	<p>【到達目標】 3限目 定期テスト ・後期を振り返り、自分に身についた力に気付きまとめることができる 4限目 お疲れ様会分 振替 4限目は授業なし</p> <p>【定期試験】 60点</p>		
8 11/25	<p>【到達目標】 キャンパスウエディングに向けた準備 ・それぞれの役割を理解し、最終的な確認をすることができる ・チームで協力しひとつの結婚式をつくりあげる準備ができる</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>						
【特記事項】 下記記事はプロデュース実践授業の単位分とします。				【評価について】			
10月	ハロウィンイベント企画・運営【リハ4限分・当日4限分】			毎回の小テスト40点、および定期試験60点満点の合計100点満点の得点力に応じて評価する			
2月6日	1年生模擬挙式 ゲストとして参加【2限分】						
2月12日	後期お疲れ様会【1限分】						

科目名	ホテルマネジメント	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	照井 克弘
学科・コース	ホテル科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分	後期 曜日・時間
<p>【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>接客サービス員、ホテルマンとして長年にわたり、料飲サービスに従事してきました。その経験を活かし、料飲接遇の全般にわたり基礎的知識を講義する。料飲全般の基礎知識を身に付けることはホテルマンにとって必須である。その上で、さらにホスピタルティマインドを備えた職業人になってほしいと考えます。</p> <p>【教員略歴】 上野精養軒、京王プラザホテル札幌で料飲サービス、宴会予約等に携わり、現在はホテルやレストランにスタッフを紹介する事業所を運営しております。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①料飲接遇サービス技法の深い理解、レストランサービス技能検定3級学科の合格 ②レストランサービス技能検定3級実技の合格 ③ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級の内容の深い理解、検定試験の合格(任意受験)</p>							
<ul style="list-style-type: none"> ・レストランサービス技能検定実技解説DVD ・ホテルビジネス基礎編 ・練習過去問題集 				<p>【授業外における学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技のセリフの音読 ・ホテルビジネス検定の自宅学習(過去問題集使用) 			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 10/1	<p>【到達目標】 レストランサービス技能検定実技試験・同内容、同形式を繰り返し練習</p> <p>【確認小テスト】 2点</p>			9 12/3	<p>【到達目標】 ホテルビジネス実務検定対策 [宴会部門の業務]</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
2 10/8	<p>【到達目標】 レストランサービス技能検定実技試験・同内容、同形式を繰り返し練習</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			10 12/10	<p>【到達目標】 ホテルビジネス実務検定対策 [調理部門の業務]</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
3 10/14	<p>【到達目標】 レストランサービス技能検定実技試験・同内容、同形式を繰り返し練習</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			11 12/17	<p>【到達目標】 ホテルビジネス実務検定対策 [マーケティング部門の業務]</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
4 10/22	<p>【到達目標】 レストランサービス技能検定実技試験・同内容、同形式を繰り返し練習</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			12 1/21	<p>【到達目標】 ホテルビジネス実務検定対策 [総務・人事部門の業務]</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
5 10/29	<p>【到達目標】 レストランサービス技能検定実技試験・同内容、同形式を繰り返し練習</p> <p>※実技試験前最終講義</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			13 1/28	<p>【到達目標】 ホテルビジネス実務検定対策 [施設管理部門の業務]</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>		
6 11/12	<p>【到達目標】 ホテルビジネス実務検定対策 [ホテルの基礎、ホテル英語の基本]</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			14 2/3	<p>【到達目標】 ホテルビジネス実務検定対策 [仕入・購買部門の業務] [経理・会計部門の業務]</p> <p>【確認小テスト】 2点</p>		
7 11/19	<p>【到達目標】 ホテルビジネス実務検定対策 [宿泊部門の業務]</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>			15 2/11	<p>【到達目標】 ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級に準拠した試験の実施</p> <p>【定期試験】 60点</p>		
8 11/26	<p>【到達目標】 ホテルビジネス実務検定対策 [料飲部門の業務]</p> <p>【確認小テスト】 3点</p>						
<p>【特記事項】 プロジェクター、DVDプレイヤー、実技備品用意願います。</p>				<p>【評価について】 毎回の確認小テスト40点と、定期試験60点の合計100点満点で評価する。</p>			

科目名	卒業制作	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	ペナルージュ亜紀子
		授業形態	演習・座学	総時間 (単位)	60時間 (4単位)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜・2・3限目
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ウェディングプランナーとして長年結婚式場に従事し、婚礼施行責任者及び新人スタッフの育成を行ってきた教員が、ウェディングスタッフとして働く上での『心構え』・『ホスピタリティ』・『オリジナルウェディングのプランニング』について指導し、実際に結婚式をプランニング、プレゼン、施行までの実習を実施します。							
【到達目標】							
①1年から取り組んできた授業の集大成としてすべての経験を活かし、学内で実際に新郎新婦との打合せ、準備、当日の施行を行う。 ②実際のウェディングの施行をする事で様々な体験をし、現場での即戦力につながる自信を持つことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
オリジナル教材・赤ペン・筆記用具・ルーズリーフノート・付箋・PC				①校内はウェディングスタッフとしての立ち振る舞いを意識する。 ②授業毎に学習の定着を確認するために確認小テストもしくは課題を出します。 ③授業内で未完性の作業は責任をもって次回の授業までに準備・完成させる。			
回	授業概要			回	授業概要		
1 10/1	【到達目標】 実際の新郎新婦とお打合せを行う⑤ * 案内状のお渡し * 進行内容やディスプレイなどの打合せを行う * ブーケのお打合せ 【確認小テスト】 2点			9 12/3	【到達目標】 振り返りをし、更なる引き出しを増やす事ができる！ * 振り返りビデオを見ながら改善点や良かった点などを話し合い、さらに良いシーンにすることができる * チーム事にお互いの評価をし、チームとしての改善点の見直しができる。 【確認小テスト】 3点		
2 10/8	【到達目標】 全体リハーサルを行い、シーンの見直しをする * 決定した内容を元に挙式の装飾、演出の準備ができる。 【確認小テスト】 3点			10 12/10	【到達目標】 * お二人にもご参加いただき、当日のビデオ鑑賞&感想を頂く 【確認小テスト】 3点		
3 10/15	【到達目標】 実際の新郎新婦とお打合せを行う⑥ * キャンパスWDの制作・準備を計画に沿って役割事にできる * 進行内容と配席内容の決定 * ヘアメイクリハーサル 【確認小テスト】 3点			11 12/17	【到達目標】 * 作業レポート：授業の始めから振り返りまでの自分たちの作業をレポートにまとめ、自分達だけではなく、来年作業をする学年への参考にしような引き継ぎ書を作成する。 【確認小テスト】 3点		
4 10/22	【到達目標】 * キャンパスWDの制作・準備を計画に沿って役割事にできる * 進行台本BGM,会場装飾、 * カメラマンへの支持シートなど 準備作業を計画通りに進めることが出来る 【確認小テスト】 3点			12 1/14	【到達目標】 * ホスピタリティマインド：結婚式の必要性を考えることができる * 動画編集/アルバム作り/二人へのプレゼント作成 【確認小テスト】 3点		
5 10/29	【到達目標】 * キャンパスWDの制作・準備を計画に沿って役割事にできる * 進行台本BGM,会場装飾、 * カメラマンへの支持シートなど 準備作業を計画通りに進めることが出来る 【確認小テスト】 3点			13 1/21	【到達目標】 * ホスピタリティマインド： * 動画編集/アルバム作り/二人へのプレゼント作成 【確認小テスト】 3点		
6 11/12	【到達目標】 実際の新郎新婦とお打合せを行う⑦ * お二人と最終打ち合わせを行う (MC同席) * 進行演出などを最終確認する 【確認小テスト】 3点			14 2/4	【到達目標】 * 参加ゲストへサンクスカードを作成する。 【確認小テスト】 3点		
7 11/19	【到達目標】 リハーサル * 当日の動きを確認しながら通しで動けるようになる。 * サービス打合せ 【確認小テスト】 3点			15 2/11	【到達目標】 * 定期試験範囲は後日発表いたします 【定期試験】 60点		
8 11/26	【到達目標】 リハーサル * 当日の動きを確認しながら通しで動けるようになる 【確認小テスト】 3点						
【特記事項】				【評価について】			
* 11/27 (金) リハーサル予定 * 11/28 (土曜) か11/29 (日曜) キャンパスウェディング予定日				* 実技：キャンパスWD：30点/筆記：30点 確認小テスト40点の100点満点で評価 ※キャンパスWDはルーブリックにより評価予定です。			

科目名	フロント・宿泊演習	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	堺 千津子
学科・コース	ホテル科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 4時限目
【授業の学習内容と心構え】 (実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 担当教員 ホテル実務経験、婚礼MC、人材派遣会社採用面接官を経て、現在マナー&カウンセリングオフィス自営の実務経験がある教員が ホテルの魅力やホテルマンとして社会貢献の意義を学びながら、ホテル実務に関する内容を、講義と実習を通して主体的に学び 企業に求められるホテルマンを目指す							
【到達目標】 フロントサービスの仕事を理解するとともに、好感のもたれる明るい表情と態度で即戦力となる人材を目指す 社会に必要なビジネスマナーを身に付ける							
【使用教科書・教材・参考書】 ホテルビジネス実務検定 テキスト 過去問題集				【授業外における学習】 ①テキストや過去問題を用いて予習 都度出題 ②学習の定着を確認する為、翌週に確認テストを実施します			
回	授業概要			回	授業概要		
1 10/1	【到達目標】 フロントサービス課の業務内容が理解できるようになる フロントオフィスの業務の位置づけが理解できるようになる 笑顔でお客様を出迎えチェックイン業務が出来るようになる 【確認小テスト】 2点			9 12/3	【到達目標】 お客様や企業に送るビジネスメールのマナーや手紙のマナーを理解し あいさつ文や添え状、お礼状が書けるようになる 四季の挨拶を学び、季節に応じた手紙が書けるようになる 【確認小テスト】 3点		
2 10/8	【到達目標】 宿泊予約を受けるために 電話対応の知識を持つ 代替案を用いた親切な対応が出来るようになる 【確認小テスト】 3点			10 12/10	【到達目標】 お客様から頂戴する名刺の取り扱い方の知識を持ち 自らも名刺交換が出来るようになる 【確認小テスト】 3点		
3 10/15	【到達目標】 電話対応で 掛け手、受け手共に好感のもたれる対応が出来るようになる 【確認小テスト】 3点			11 12/17	【到達目標】 ビジネス文書の知識を持ち 社内文書 社外文書ともに発信できるようになる 【確認小テスト】 3点		
4 10/22	【到達目標】 電話オペレーターの仕事が理解できるようになる 【確認小テスト】 3点			12 1/21	【到達目標】 マーケティング部の概要と実務を理解することが出来るようになる 【確認小テスト】 3点		
5 10/29	【到達目標】 フロントオフィスの組織と特性が理解できるようになる 【確認小テスト】 3点			13 1/28	【到達目標】 総復習 宿泊部の仕事を理解する 出迎えからご出発までの対応が出来るようになる 【確認小テスト】 3点		
6 11/12	【到達目標】 宿泊に関する知識とサービスを理解し、好感のもたれる対応が出来るようになる ・ユニホーム課の仕事が理解できるようになる 【確認小テスト】 3点			14 2/4	【到達目標】 総復習 宿泊部の仕事を理解する2 様々な備品の取り扱い方 手荷物の預かり方などが出来るようになる 【確認小テスト】 3点		
7 11/19	【到達目標】 ホテルの宴会部門での知識を持つ 冠婚葬祭の知識が理解できるようになる 【確認小テスト】 3点			15(祭) 2/11	【到達目標】 定期試験:筆記試験 【定期試験】 60点		
8 11/26	【到達目標】 ホテル業界に限らず、ビジネス用語 商業用語 慣用語などが理解できるようになる 【確認小テスト】 3点						
【特記事項】 ホテル実務ビジネス検定 11/26(木) 2021 3/6(土)				【評価について】 毎回の確認小テスト40点、および定期試験60点満点の合計100点満点の得点力に応じて評価する			